

平成 30 年度
事業報告書

施設名：北区立赤羽台保育園

平成 31 年 3 月 31 日
社会福祉法人茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

保育標準時間 7:15～18:15 保育短時間 8:30～16:30

② 実施事業

延長保育 18:16から20:15の2時間 1時間補食 2時間夕食提供

休日保育 年始1月1日～1月3日を除く日曜祝日

子育て支援 子育て相談 子育て情報の発信 親子わらべうたの会

③ 児童処遇

0歳児…ひよこ組 1歳児…うさぎ組・いちご組 2歳児…ぱんだ組・たんぼぼ組

3歳児…きりん組・こじか組 4歳児…はと組・つばめ組 5歳児…ほし組

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	12	38	38	38	38	38	202
30年4月	12	42	42	42	36	39	213
31年3月	12	42	42	42	37	37	212

④ 職員体制（3/31時点）※（）はパート職員

園長	1名	奥戸
主任保育士	1名	伊藤
保育士	43名（15）	千脇、浅野、根本、佐野、眞壁、芥川、高田、川尻、廣瀬、井上、金子、山口、山崎、清水、那須野、前島、立花、忠鉢、上督、渡辺、野村、高橋、武藤、下地、下村、山内、山室、渡辺、（大橋）、（小林）、（丸山）、（相澤）、（平田）、（小池）、（名塚）、（杉山）、（荻山）、（瀬田）、（中内）、（西山）、（高橋）、（藤井）、（藤岡）
保育補助	9名（9）	（安東）、（石垣）、（小熊）、（西山）、（芳賀）、（長谷川）、（町田）、（渡辺）、（滝元）
栄養士	2名	大橋、伊藤
調理師	3名	小山、門脇、藤木
調理補助	4名（4）	（八木）、（河合）、（長谷川）、（大塚）
看護師	1名	岩田
事務員	3名（1）	百地、松瀬、（森）
用務員	3名（3）	（井下）、（小名）、（村上）

2. 年間行事実施状況

4月	進級式 入園式 慣らし保育 内科検診 (全園児)
5月	子どもの日の集い 保護者懇談会 (0~5歳)
6月	歯科検診 歯科衛生指導 (5歳児) 保育参加・保育参観(乳児)期間
7月	七夕・プール活動 引き渡し訓練 防犯訓練
8月	プール活動 縁日ごっこ
9月	敬老会 (5歳児) 引き渡し訓練
10月	運動会 芋ほりバス遠足 (4・5歳児) 焼き芋パーティー (4・5歳児)
11月	個人面談 保育参加・保育参観(乳児)期間 尿検査 (幼児) 引き渡し訓練
12月	お楽しみ会
1月	初釜 (5歳児) 引き渡し訓練
2月	節分 生活発表会 (2~5歳児) 保護者懇談会 (0・1・2歳児)
3月	ひなまつり会 活け花 (5歳児) お茶会 (4歳児) 引き渡し訓練 お別れ電車遠足 (5歳児) 野外カレーパーティー (5歳児) 保護者懇談会 (進級に向けて3・4歳児) 卒園式

* 幼児組 年間通して保護者の保育参加の受け入れを行う。(給食提供を含む)

3. 職員研修実績 【外部研修】

月	件数	参加者
4月	0件	
5月	3件	大橋、前島、根本
6月	6件	奥戸、伊藤(美)、千脇、大橋、高田、廣瀬
7月	3件	廣瀬、川尻、伊藤、立花
8月	1件	山室、下村、下地
9月	7件	奥戸、伊藤、井上、芥川、佐野、小山、藤木、伊藤(美)
10月	5件	奥戸、山口、根本、千脇、岩田
11月	10件	奥戸、伊藤、根本、那須野、高橋、下村、山内、渡邊(琴)、 岩田、松瀬、廣瀬、小山、大橋
12月	2件	真壁、小山、門脇、藤木
1月	4件	井上、真壁、下地、山室、岩田、清水
2月	3件	岩田、奥戸、千脇
3月	0件	

【園内会議・研修実績】

会議名	対象者	実施頻度
職員会議・給食会議	正職員	毎月1回
内容検討会議	各クラス担任	毎月1回
乳児会	各クラス担任	毎月1回
幼児会	各クラス担任	毎月1回

巡回指導研修	申請クラス	年 10 回
北区教委コーディネーター研修	幼児クラス	年 10 回
園内研修 1,2年目研修	1,2年目職員	年 4 回
保育内容研修	正職員	年 8 回
防犯・消防研修	正・非職員 補助	年 3 回
保健衛生研修	正職員	年 12 回
法人キャリアアップ研修	正職員	年 16 回
保健衛生研修	正職員	年 12 回

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 平成 30 年度（自）平成 30 年 4 月 1 日（至）平成 31 年 3 月 31 日」参照。

5. 評価および反省

< 戸外活動の怪我について >

5 月 4 歳男児が戸外の公園内にある固定遊具で額を 2.5cm 切り、縫合する怪我をした。職員の初動対応にも問題があり、病院受診までの時間がかかった。大きな怪我の初動対応について北区保育課、園、保護者と話し合いを行った。この怪我については、職員間で再発防止に取り組み、職員・園児ともに安全教育を徹底した。また、全保護者に説明を行い、現在は戸外活動への理解をいただいている。誠意をもって対応したことで、園の姿勢を伝えることができ信頼を深められた。

< 子ども・保護者支援への取り組み >

配慮が必要な子どもは増加の傾向にあり、発達心理士の助言を受け、個々の特性を学び、より適切な援助へつなげた。また要保護児童への対応では、両親ともに家庭内の問題を抱える家庭や子育ての不安を訴える保護者に担任、園長が面談を行いながら区の子ども家庭支援センターと連携を図り安心して子育てができるように配慮できた。虐待など深刻な問題は無かったが、経過観察が必要な家庭も多い。各家庭の実態を踏まえて、保育園の特性を生かした子育て支援を今後も行っていきたい。

< 保育から環境教育への取り組みへ >

乳児は、育児での担当制保育を行い、愛着関係を育み遊びが連続して出来るように環境を整えた。安定した情緒や安心の生活を土台にして探究活動など自発的な遊びが生まれていた。幼児組は、主体的な活動への取り組みを行い、信頼、自信、自立の構築が図れた。特に発表会では台詞から話し合うなど様々な葛藤を乗り越えて協働する姿が見られ成長を感じた。

区立赤羽自然観察公園が近く四季折々の植物や昆虫など生きものに直接接触して、自然の美しさや神秘さ、感性を磨くことが出来た。公園内野外バーベキュー場で、保護者の協力のもと 4,5 歳の焼き芋会、5 歳のカレー会を行った。火起こしは、保護者から、木の種類を学び、自分達で炉に組み木し、マッチで火を起こした。ゴミを出さない工夫や水等資源を大切にする活動を行った。また、給食食材を仕入れている店舗の方や生産者の方を招き、ぶりの解体ショーや、お米の話聞くことができた。身近な生活から、自然を大切にする心、食べ物を感謝する心を培う環境教育につなげて園の特色としていきたい。

今後も中・長期計画に基づき職員数を安定させて、安定した園運営を行っていきたい。